

【担当教員名】		対象学年	③・４	対象学科	社会（３年）	作業（４年）
梶原洋生		開講時期	後期	必修・選択	必修	選択
		単位数	2	時間数	30	
【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】						
本講義では、社会保障の各論的な内容を中心に学習して、その理解を進める。社会保障の各制度（年金保険、医療保険、介護保険、雇用保険、労働者災害補償保険など）について、習熟する。さらに、社会手当制度や民間保険制度などについて把握し、体系的に理解していく。ひいて、これらに通呈する構造的な課題を検討し、我が国の今後についても考察を深める。						
【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】						
1. 社会保障の制度設計における特色を理解する。						
2. 各制度の仕組みを的確に把握する。						
3. 社会保障の方法的視点を身につける。						
4. 社会保障の各制度における現況を把握する。						
5. 社会保障に関する分析から理論構成を行なう。						
6. それらを通じて、福祉職に必要な事柄をさらに整理して理解する。						
回数	授業計画又は学習の主題				SBO	
					番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	「社会保障論Ⅱ」への取り組み（受講上の留意点）					講義
2	社会保障論における「各論」の意味と位置づけ					講義
3	年金保険制度（１）					講義
4	年金保険制度（２）					講義
5	医療保険制度（１）					講義
6	医療保険制度（２）					講義
7	介護保険制度（１）					講義
8	介護保険制度（２）					講義
9	雇用保険制度（１）					講義
10	雇用保険制度（２）					講義
11	労働者災害補償保険制度（１）					講義
12	労働者災害補償保険制度（２）					講義
13	社会手当制度					講義
14	現代社会保障における「公」と「民」、そして専門職（まとめ）					講義
【使用図書】		＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞	
教科書 （必ず購入する書籍）		『はじめての社会保障』、椋野美智子・田中耕太郎、有斐閣アルマ、最新刊				
参考書		『新版 医療と福祉の法律学』、梶原洋生、インデックス出版、2002 その他、適宜紹介する。				
その他の資料		『介護の法律入門』、梶原洋生、インデックス出版、2006 その他、適宜紹介する。				
【評価方法】			【履修上の留意点】			
出席点、平常点、試験点による。						